

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)福知山市総合防災センター	階数	地上2F
建設地	京都府福知山市東羽合町45番~50	構造	S造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、法22条	平均居住人員	50 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2012年1月 予定	評価の実施日	2010年9月30日
敷地面積	17,780 m ²	作成者	木田伸一郎
建築面積	2,491 m ²	確認日	2010年10月15日
延床面積	3,547 m ²	確認者	

外観/パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.7 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.4

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	省エネルギー、環境負荷の低減による環境に配慮した建築を目指した	その他 特になし
Q1 室内環境	外皮性能の向上 室内VOCの低減 自然換気性能の向上	Q3 室外環境(敷地内) 景観への配慮 緑化の推進
LR1 エネルギー	自然採光、通風の確保 省エネルギー機器の採用	LR3 敷地外環境 緑化の推進 駐車、駐輪場の確保
Q2 サービス性能	耐久性の向上 バリアフリー化	
LR2 資源・マテリアル	分別解体への配慮	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される